

## 令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

### I. 概要

令和3年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が引き続く中、大規模なワクチン接種が進み収束への期待感が高まったが、オミクロン変異株の急拡大により経済回復のペースは鈍化傾向となった。さらに急激なエネルギー価格や鋼材価格の高騰、円安などを起因とする物価の上昇、ロシアのウクライナ侵攻による経済制裁への参加など、引き続きわが国の経済に甚大な影響を及ぼす懸案事項が多く申し掛かっている。

建設産業においては、令和2年度の落ち込みからの反動で受注量は増加したと言われ、特に民間工事受注は大幅に回復したが、担い手不足の影響と建設資材の価格高騰が顕著であり、採算は悪化する傾向となった。コンクリート圧送業界においては、生コンクリートの出荷量が前年度比3%減の7,664万 $\text{m}^3$ と過去最低を更新した。都市部の再開発工事や大型物流施設などによる出荷量の伸びを除けば、地方部の建設業を支えてきた公共工事の減少が大きく影響していると言える。

このような厳しい環境の中、全圧連会員の圧送業者は、各社とも経営の維持と圧送技能者の処遇改善のため、受注金額の獲得に懸命な努力を続けている。集中豪雨や地震による災害は引き続き発生しており、国土の減災・防災を担う建設産業の重要な役割に変わることはない。担い手を確保・育成し、建設業界が持続的に発展し続けて行けるために、IT活用などにより自動化・省力化を図る生産性向上策、働き方改革に関連した各種の取組み、建設キャリアアップシステムの普及と活用による技能労働者の処遇改善と専門工事業の評価、特定技能外国人受入れ制度の業種再編による柔軟化などが進められている。

全圧連は、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人流を抑えた事業スタイルを継続し、単協の協力のもと、同感染症の拡大防止に努めつつ労働災害防止と技術・技能の向上を推進するため、全国統一安全・技術講習会を始めとする各種教育のリモート化を継続するほか、他の専門工事業団体と連携し、技能者の賃金確保と適正受注単価確保、時間外労働への対応に向けた活動に取り組んできた。今夏、道半ばで長谷川前会長が急逝するという突然の不幸に見舞われたが、佐藤新会長による新体制のもと、前会長の意志を引き継ぎ、事業に取り組んだ年となった。

## Ⅱ. 本部事業

### 1. 諸会合の開催

#### (1) 総会

前年度事業報告および決算承認、本年度事業計画書（案）および予算（案）承認、任期満了に伴う役員改選のための通常総会をリモート会議にて実施した。

なお、一般社団法人への移行後より実施してきた公益目的支出計画は、令和3年3月31日をもって完了した。

##### 1) 第10回通常総会 … 3. 5.26 ZOOMによるリモート会議

議事：①令和2年度事業報告及び同収支決算報告、ならびに  
公益目的支出計画実施報告の承認について

②令和3年度事業計画（案）および同収支予算（案）の承認について

③任期満了に伴う役員の改選について

#### (2) 理事会および代表者会議

全圧連の主要な事業活動・運営に関する意思決定を行う定例の理事会を3回、正・副会長等の執行部役員の選出を行う臨時理事会を1回、長谷川会長の逝去に伴う新会長の選出を行う臨時理事会を1回、それぞれリモート会議にて実施した。

##### 1) 第28回理事会・代表者会議 … 3. 4.23 ZOOMによるリモート会議

議事：①令和2年度事業報告および収支決算報告について

②令和3年度事業計画(案)および予算(案)について

③職員給与規定の改定について

④総会表彰候補者について

⑤任期満了に伴う役員改選について

⑥令和3年度通常総会について

⑦単協状況報告、意見交換、その他

##### 2) 臨時理事会 … 3. 5.26 ZOOMによるリモート会議

議事：①賛助会員の退会申請について（WWB株式会社）

②会長・副会長等の選出について

##### 3) 臨時理事会 … 3. 9.10 ZOOMによるリモート会議

議事：①会長の選任について

##### 4) 第29回理事会・代表者会議 … 3.10.21 ZOOMによるリモート会議

議事：①令和3年度上期事業報告および収支決算報告について

②来年度の建設マスター等候補者の選出地域について

③標準請負単価の策定について

④長時間労働規制緩和に向けた時間外労働アンケート調査について

⑤単協状況報告、意見交換、次回理事会について、その他

##### 5) 第30回理事会・代表者会議 … 4. 1.20 AP品川会議室(東京)

およびZOOMによるリモート会議併設

議事：①理事の辞任について

②賛助会員の入会申請について（三菱商事建材株式会社）

③次年度建設マスター等候補者と総会表彰者の募集について

④企業の見える化評価基準等の策定について

⑤レベル別最低年収・標準請負単価の策定について

- ⑥特定技能外国人 業種区分の再編について
- ⑦建設人材育成優良企業表彰の創設について
- ⑧福祉共済制度 配当金および加入状況について
- ⑨電子取引データ等に関する事務処理規程案について
- ⑩入職者数・離職者数アンケート調査について
- ⑪新年度事業・予算案について
- ⑫次回の理事会・代表者会議および通常総会について
- ⑬単協状況報告・意見交換、その他

### (3) 常務会

会長・副会長・専務理事・常務理事で構成する常務会（役員会）を5回開催、事業執行に係る以下の議事につき審議を行った。

- ① 3年度第1回 … 3. 4. 15 ZOOMによるリモート会議  
議事：前年度事業・決算報告、新年度事業計画および予算案、役員改選、QRコードによる見える化事業開始、特定技能外国人のリモート訓練・試験実施計画、CCUS レベル判定システムの今後の運用、会員名簿発行、次回理事会および通常総会の議事運営、他
- ② 3年度第2回 … 3. 8. 4 ZOOMによるリモート会議  
議事：新役員体制、事業進捗状況、CCUS レベル判定システム停止後の対応、国交大臣表彰申請、事務局の火災保険加入、コンクリート工技能者資格制度への協力、圧送関連新技術・広報事業推進に向けたWGの設置、今後の主要行事開催、他
- ③ 3年度第3回 … 3. 8. 30 ZOOMによるリモート会議  
議事：長谷川会長逝去に伴う役員人事、新会長選出のための臨時理事会開催、他
- ④ 3年度第4回 … 3. 10. 14 ZOOMによるリモート会議  
議事：上期事業・決算報告、建設マスター等候補者の選出地域、CCUS レベル判定の団体代行、基幹技能者登録講習のEラーニング実施、コンクリート打込み・締固め工検定への協力、標準請負単価策定、今後の主要行事、他
- ⑤ 3年度第5回 … 4. 1. 14 ZOOMによるリモート会議  
議事：賛助会員入会、建設マスター等候補者選出、レベル別最低年収・標準請負単価、企業の見える化評価基準、特定技能外国人の業種区分再編、国交省の新表彰制度の創設、新年度予算案、今後の主要行事、他

### (4) 監事会

- 2年度期末決算指導・監査 … 2. 4. 9 全圧連会議室
- 3年度中間決算指導・監査 … 3. 10. 8 全圧連会議室およびZOOMによるリモート会議

## Ⅲ. 委員会事業等

### 1. 経営委員会

#### (1) 経営革新および経営の戦略化のための事業

- 1) 全圧連および圧送業界のブランディング事業の一環として、ホームページの会員名簿における会員ポンプ車のカラーデザイン掲載を開始した（9月）3月現在、87社のポンプ車のカラーデザインを掲載している。
- 2) 上記ブランディング事業の一環として、トミーテック（株）が発売するコンクリートポンプ車の模型（ミニカー）の特別枠での購入希望を募集し、会員164社より2,423台、賛助会員等より234台の注文を受け、全圧連分と合わせて2,657台を購入した。

- 3) 広報事業を推進するためのワーキンググループの設置を決議した（8月常務会）。
- 4) 令和2年度の経営実態調査を実施（4月～7月）。今回の調査も回答率59.7%と半数以上の会員企業から調査回答を得た。調査報告書を11月に発表。ホームページに公開するとともに関係業界紙に掲載し、業界の現状をアピールした。

## (2) 取引価格の適正化に向けた事業

- 1) 公共土木工事の発注価格の基礎となる「建設機械等損料表」のコンクリートポンプ関連機材の損料調査を（一社）日本建設機械施工協会より受託し、会員企業向けに実施した（8月）。
- 2) 技能者のレベル別の労務費を明示する標準見積書の策定について、国交省との意見交換を行った（8月）。
- 3) 公共建築工事市場単価調査を運営する建築コスト管理システム研究所、ならびに調査機関に対し、配管料の調査項目追加を継続して要望するとともに、単協への積極的な市況ヒヤリングを要請した（7月～）。
  - ・建築コスト管理システム研究所との市場単価調査に関するヒヤリング
  - … 3.12.10 全圧連会議室
- 4) 国交省の要請を受け、燃料高騰による受注単価・経営環境への影響を把握するための2回の緊急アンケート調査を実施した（11月、3月）。
- 5) 建専連がダンピング抑止対策として掲げる、業種ごとの技能レベル別最低年収と標準請負単価の策定について審議を行った。（9月～）。

## (3) 生産性向上、作業環境および労働条件の改善、福利厚生の上昇に関する事業

- 1) 回送時間を要するコンクリート圧送業の長時間労働の規制緩和活動に向け、（一社）全国クレーン建設業協会と連携し、時間外労働に関する実態アンケート調査を2回実施、調査結果に基づき今後の対応策を協議した（8月～）。
- 2) コンクリート圧送の特定技能外国人の国内試験合格者に対する求職照会を行った（6月）。
- 3) 建設キャリアアップシステムへの登録状況を経営実態調査で調査するとともに、早期の登録を周知啓発した。
- 4) 建設キャリアアップシステムを活用した「企業の施工能力の見える化」の、圧送業における評価基準案を継続して協議し、策定した。
- 5) 全圧連福祉共済制度を推進。本年度より通院見舞金制度の支給要件を緩和するとともに、新型コロナウイルス感染による自宅療養期間も入院見舞金の対象とした。3/1 現在、加入率34.3%となっている。（※加入状況は「全圧連福祉共済加入状況表」を参照）。
- 6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた施策・周知事項・各種の支援策について、メールおよびホームページにて都度情報配信を行った。
- 7) 「ひとつひとつの点検・心がけで事故を防ごう!!」と題した、「2022年版全圧連事故防止カレンダー」を作成。企業名印刷を募集し、4,540部を発注・作成した。

## (4) 全圧連組織の拡大・活性化に関する事業

- 1) 山梨県コンクリート圧送協会が新規入会した。（4月）
- 2) 四国地域および北陸地域の組織拡大に関する情報交換を行った。
- 3) 賛助会員（第2種）に三菱商事建材(株)が新規入会した(1月)

## (5) 事業推進のための会議の開催

2回の委員会および3回のワーキンググループ（WG、※10月以降は“幹事会”に名称変更）を開催した。

- 1) 第63回経営委員会 … 3. 8. 3 ZOOMによるリモート会議  
議事：①令和3年度委員会事業計画について  
②経営実態調査の回答状況中間報告

- ③QR コードを活用した圧送業の見える化事業について
  - ④専門工事業の施工能力の見える化～評価基準の再検討について
  - ⑤時間外労働に関するアンケート調査の実施と陳情活動について
  - ⑥建設機械等損料表改定調査への協力について（資料7）
  - ⑦全圧連ホームページ会員名簿への各社ポンプ車のカラーリングの掲載について
  - ⑧2022年版全圧連事故防止カレンダーについて
  - ⑨特定技能外国人受入事業の状況について
  - ⑩福祉共済制度の加入状況について
  - ⑪単協状況報告、意見交換、その他
- 2) 第64回経営委員会 … 4. 2. 18 AP 品川会議室(東京)  
 および ZOOM によるリモート会議併設  
 議事：①福祉共済制度の推進と見舞金制度の一部改定について  
 ②時間外労働の実態に関するアンケート調査結果について  
 ③経営実態調査報告書の発表と新年度の調査について  
 ④コンクリート圧送業の施工能力の見える化評価基準の策定について  
 ⑤技能レベル別最低年収と標準請負単価の策定について  
 ⑥特定技能外国人の業種区分再編と受入負担金について  
 ⑦道交法施行規則の改正によるアルコールチェック義務の拡大について  
 ⑧新年度事業計画  
 ⑨単協状況報告・当面する諸課題について、その他
- 3) 経営委員会 WG (10月以降は“WG”を“幹事会”に名称変更)  
 第75回会議 … 3. 6. 23 ZOOM によるリモート会議  
 議事：新年度事業計画、経営実態調査中間報告、時間外労働に関する調査検討、専門工事業の見える化評価基準の再検討、ブランディング事業、事故防止カレンダー、特定技能外国人受入事業の状況、他
- 第76回会議 … 3. 11. 9 AP 品川会議室(東京)  
 議事：WG 会議の名称変更と委員会人事、経営実態調査報告書の発刊、時間外労働アンケート調査結果と今後の対応、専門工事業の施工能力の見える化評価基準、「標準請負単価」の協議、福祉共済制度の入院見舞金の新型コロナ対応、新 WG 創設について、他
- 第77回会議 … 4. 1. 19 AP 品川会議室(東京)  
 議事：福祉共済制度の配当金と加入状況、国交省の各種緊急アンケート、企業の見える化評価基準の策定、時間外労働アンケート再調査結果と今後の対応、レベル別最低年収・標準請負単価の策定、新 WG の人選、次年度経営実態調査、新年度事業計画、他

## 2. 技術委員会

### (1) 安全施工・労働災害防止および技術・技能向上のための事業

- 1) 令和3年度の全国統一・安全技術講習会を、以下のカリキュラムにて全国の単協との共催により開催。

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合講習だけでなく各社で講習受講が可能なビデオ資料と事務手続きの各種書類を作成した。

修了会員企業には修了証明書（企業用およびポンプ車搭載用）を発行し、ヘルメット貼付用の修了シールの配布を行っている。

23 単協にて開催、394 社・4,439 名が修了している（※開催状況は「講習会受講者内訳表」

を参照)。

#### [令和3年度 全国統一安全・技術講習会 統一カリキュラム]

- ①ブーム折損事故の防止
  - ②コンクリート圧送工事における災害事故報告 2020  
他、各単協における独自プログラム
- 2) 安衛法関係法令に定めるコンクリートポンプ車特別教育を、全国の単協との共催により開催。修了者には修了証を発行している。  
22単協にて開催、会員116社・222名、員外31社・52名が修了している(※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照)。
- 3) 労働基準局通達に基づく特別教育再教育を、昨年度より「コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育」と名称を変更し、全国の単協との共催により開催。  
昨年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合講習だけでなく各社で講習受講が可能なビデオ資料と事務手続きの各種書類を作成している。

#### [令和2年度～4年度 コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育カリキュラム]

コンクリートポンプ車の公道走行

- 修了者には修了証を更新し発行している。  
14単協にて開催、210社・1,457名が修了している(※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照)。
- 4) 安衛法関係法令に定める足場の組立て等の業務に係る特別教育を、継続して全国の単協との共催により開催した。修了者には全圧連より修了証を発行している。  
13単協にて開催、63社・141名が修了している(※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照)。
  - 5) 安衛法関係法令に定めるフルハーネス(墜落制止用器具)の特別教育を、継続して全国の単協との共催により開催した。14単協にて開催、69社・229名が修了している(※開催状況は「講習会受講者内訳表」を参照)。
  - 6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合教育を行う場合の講習会運営マニュアル「新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための具体的な取組(全圧連版)」を作成し、周知している。
  - 7) 『最新コンクリートポンプ圧送マニュアル』を各種教育でのテキストとして活用を薦めている。
  - 8) コンクリートポンプ特別教育用教材のベトナム語翻訳版を作成し、各単協での活用を依頼した。
  - 9) 災害事故に関する情報収集に努め、事故報告書を都度配信した。

#### (2) 圧送施工に関する調査研究・研修・広報事業

- 1) 新型コロナウイルス感染防止に対応すべく、ベトナムでの特定技能外国人受入れに向けたリモート訓練・試験の実施に向け、通訳を交えた現地訓練校とのデモンストレーションを行った(4月～5月)。
- 2) 特定技能外国人としての受入れに向けた訓練・試験をベトナム国内で実施できるよう、現地の講師2名の養成のためのリモート講義を実施した(12/20～1/13、延べ8日間)。
- 3) 日本国内で、コンクリート圧送での特定技能外国人在留資格を希望する者に対する試験を2回実施した(6月東京、9月福岡)。
- 4) 建設キャリアアップシステムを活用した「レベル判定システム」の稼働停止を受け、システム改修期間中のコンクリート圧送の技能レベル判定の全圧連での実施を開始した(9月)。

- 5) QRコードを利用した「コンクリート圧送工事業の見える化」事業を導入（4月）。利用者拡大に向けキャンペーンを実施した（7月～）。
- 6) 技術委員会において、技術委員に対する本年度の「安全・技術講習会」および「コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育」の講師研修を実施した（7月）。
- 7) エアコンプレッサを使用した輸送管の空気洗浄における留意事項・安全対策をまとめたリーフレットを作成し配付を行った（8月）。
- 8) 圧送関連の新技术を収集し導入・活用を協議するためのワーキンググループの設置を決議した（8月常務会）。
- 9) ホッパ内の残コンクリート改良剤「TERA（テラ）」の委託販売を継続実施した。

### (3) 関係諸機関との連携協力

- 1) 日本建設機械工業会（建機工）……ポンプ車の安全対策・事故情報に関する情報交換を行っている。
- 2) 建設荷役車両安全技術協会（建荷協）……特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力している。
- 3) 日本建築学会…各種工事仕様書の改訂講習会に協賛を行っている。
- 4) 土木学会…中流動コンクリートの配合設計・施工指針策定の委員会へ参画している。

締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・製造・施工に関する研究小委員会  
 全圧連選出委員：田中徹（神奈川、㈱横浜協立）（敬称略）  
 第8回委員会 … 3. 6. 8 リモート会議  
 第9回委員会 … 3. 9. 1 ”

- 5) 日本コンクリート工学会（JCI）…「コンクリート圧送工法指針原案作成委員会」に参画している。

コンクリート圧送工法指針原案作成委員会  
 全圧連選出委員：吉田兼治（山形、㈱ヤマコン）、北口延郎（全圧連）（敬称略）  
 第8回 WG2 会議 … 3. 4. 7 ZOOMによるリモート会議  
 第9回 WG2 会議 … 3. 4. 14 ”  
 第10回 WG2 会議 … 3. 4. 21 ”  
 第10回幹事会 … 3. 7. 27 ”  
 第11回幹事会 … 3. 8. 19 ”  
 技術委員会 … 3. 9. 29 メール審議  
 第12回 WG1 会議 … 4. 3. 23 ZOOMによるリモート会議

- 6) 中央職業能力開発協会（能開協）…コンクリート圧送施工技能検定の試験問題作成を担当する中央技能検定委員の全圧連からの業界委員として以下の4名を推薦し選出している。

中央技能検定委員  
 ① コンクリート圧送施工1級・2級  
 吉田兼治（山形、㈱ヤマコン） 庭野祐逸（埼玉、(有)三進圧送）  
 山口次郎（神奈川、㈱北斗工業） 堀之内正樹（東海、㈱タニケン）  
 ② コンクリート圧送施工基礎級  
 吉田兼治（山形、㈱ヤマコン） 山口次郎（神奈川、㈱北斗工業）  
 （敬称略、順不同）

[1級・2級]  
 第1回委員会 … 3. 4. 26 中央職業能力開発協会およびリモート併設

第2回委員会 … 3. 6. 3	〃
第3回委員会 … 3. 6.18	〃
第4回委員会 … 3. 7.15	〃
第5回委員会 … 3. 8. 6	〃
第6回委員会 … 3. 9.17	〃
第7回委員会 … 3.10.14	〃
第8回委員会 … 3.11. 9	〃
第9回委員会 … 3.11.25	〃
第10回委員会… 3.12.16	〃

[基礎級]

第1回委員会 … 3. 6.12 中央職業能力開発協会およびリモート併設

- 7) 日本建設躯体工事業団体連合会が実施する、コンクリート打込み・締固め工社内検定制度の普及に協力すべく、検定試験の視察を行った … 3.10.16 清水匠技塾（千葉）
- 8) 近畿単協と日本建築学会近畿支部材料施工部会との共催による「第18回圧送技術研究会」に後援・参画した … 4. 2.24 大阪工業大学梅田キャンパス（大阪）  
およびYouTubeによるリモート開催

#### (4) 会議の開催

2回の委員会および3回のワーキンググループ(WG、※10月以降は“幹事会”に名称変更)、3回の特定技能外国人 訓練・試験準備会議を開催した。

- 1) 第69回技術委員会 … 3. 7. 9 ZOOMによるリモート会議  
議事：①技術委員会事業計画について  
②令和3年度 全国統一安全・技術講習会カリキュラムについて（講師研修）  
③令和2～4年度 危険再認識教育（旧・特別再教育）カリキュラムについて（講師研修）  
④ベトナム語版 特別教育講習用教材の配付について  
⑤本年度の登録基幹技能者講習・試験について  
⑥エアコンプレッサ（空気洗浄）取扱い時の注意喚起について  
⑦QRコードによる圧送工事業の見える化事業の推進について  
⑧建設キャリアアップシステム レベル判定システム停止と今後の対応について  
⑨特定技能外国人 訓練・試験の準備・実施状況について  
⑩2022年版事故防止カレンダーについて  
⑪今後の委員会スケジュールについて  
⑫意見交換、その他
- 2) 第70回技術委員会 … 3.11.16 ZOOMによるリモート会議  
議事：①基幹技能者更新講習報告およびE-ラーニングによる登録講習の実施について  
②技能検定の日程について  
③コンクリート打込み・締固め工技能者資格制度への協力について  
④ベトナムでの特定技能・現地講師の育成講習について  
⑤建設キャリアアップシステム・レベル判定の全圧連代行実施について  
⑥安全・技術講習会の内容規定改定と次年度の講習について  
⑦WGの名称変更と新たなWGの創設について  
⑧コンクリート技士資格取得について  
⑨第2回全国圧送技術大会について  
⑩今後の委員会スケジュールについて、意見交換、その他



- 3) 技術委員会 WG (10 月以降は“WG”を“幹事会”に名称変更)
- 第 69 回会議 … 3. 5. 27 AP 品川会議室(東京)  
議事：新年度事業計画、レベル判定システムの団体受付開始、登録基幹技能者講習・試験、特定技能外国人の 2 号評価試験、ベトナム語版教育教材、ベビーコンプレッサの安全対策、安全・技術講習会カリキュラム、他
- 第 70 回会議 … 3. 10. 15 AP 品川会議室(東京)  
議事：基幹技能者講習の中止と E-ラーニングでの再開、コンクリート打込み・締固め工資格制度、ベトナムでの特定技能・現地講師の育成講習、CCUS レベル判定の全圧連代行、第 2 回圧送技術大会について、安全・技術講習会の内容規定改定、新 WG の創設、今後の特別教育の開催方法、技術委員の資格取得支援、他
- 第 71 回会議 … 4. 2. 14 AP 品川会議室(東京)  
および ZOOM によるリモート会議併設  
議事：特定技能外国人・ベトナム現地講師養成実施報告、特定技能外国人の業種区分の再編、基幹技能者講習・試験実施報告、足場およびフルハーネス特別教育の講師用資料の作成、次年度安全・技術講習会のカリキュラムと開催方法、新年度事業計画、他
- 4) 特定技能外国人 訓練・試験準備会議
- ①第 1 回会議 … 3. 4. 6 CIVI 研修センター秋葉原(東京)  
議事：ベトナムとのリモート訓練・試験カリキュラムの内容と講習時間、担当講師等
- ②第 2 回会議 … 3. 5. 27 CIVI 研修センター秋葉原(東京)  
議事：通訳を交えたベトナム訓練校とのリモート訓練デモンストレーション、他
- ③第 3 回会議 … 3. 12. 20 AP 品川会議室(東京)  
議事：ベトナム国内における特定技能外国人訓練の現地の講師養成のためのリモート講義準備

### 3. 登録コンクリート圧送基幹技能者の育成

- 1) 令和 3 年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 登録講習・試験を 8/28～31 に静岡（もくせい会館、受講・受験者 31 名）・岡山（ホテルセントイン倉敷、受講・受験者 33 名）で同時開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期を決議した。  
国交省の許可を得、インターネットによるビデオ講習に切り替えて実施した。
- ①登録講習（E-ラーニング）：3. 11. 1 ～ 4. 1. 26  
（日建学院の E-ラーニングシステムを利用して実施）
- ②受講者と講師陣との質疑応答：①3. 11. 21、②3. 12. 19、③4. 1. 16 の 3 回  
（ZOOM によるリモート開催）
- ③認定試験：4. 1. 27 全国 6 都市の日建学院校にて実施  
（札幌・仙台・上野・名古屋・なんば・天神）  
受講申込者数：90 名、受験者数：66 名、合格者数：51 名、  
合格率：56. 7%（※対受講申込者数）
- 2) 令和 3 年度の登録コンクリート圧送基幹技能者 更新講習を、インターネットによる通信教育で実施し、114 名が受講。試験で合格基準点に達しなかった受講者には、課題を送付した。
- ①ビデオ講習 3. 9. 4～3. 9. 23 講師：中田善久（日本大学）  
②試験 3. 9. 4～3. 9. 23 （期間中に 1 回受験）  
③ビデオ補講 3. 9. 24～3. 10. 3 講師：鈴木澄江（工学院大学）

（敬称略）

- 3) 登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会を6回、幹事会を1回開催し、登録講習および更新講習ビデオの作成、講習運営方法、試験問題の作成などに関する審議を行った。

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

委員長： 柳井修司（鹿島建設株）  
副委員長： 中田善久（日本大学）  
委員： 鈴木澄江（建材試験センター）、陣内浩（東京工芸大学）  
南浩輔（前田建設工業株）、田中徹（全圧連）、住井次郎（全圧連）  
顧問： 十河茂幸（近未来コンクリート研究会）、和美廣喜（島根大学）  
栗田守朗（清水建設株）（敬称略、順不同）

- ① 第1回 … 3. 4. 20 ZOOMによるリモート会議  
② 第2回 … 3. 5. 23 ”  
③ 第3回 … 3. 6. 19 ”  
④ 第4回 … 3. 7. 10 ”  
⑤ 幹事会 … 3. 8. 6 日本大学理工学部  
⑥ 第5回 … 3. 8. 29 ZOOMによるリモート会議  
⑦ 第6回 … 4. 2. 23 全圧連会議室およびZOOMによるリモート会議併設

- 4) 登録基幹技能者制度を運営する専門工事業団体で組織する「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画している。

・総会 … 3. 6. 28 ZOOMによるリモート会議

- 5) インターネット上で公開されている「登録基幹技能者データベース」について、個人情報保護法の観点から一時公開を中止し、登録基幹技能者に対してデータベースでの情報公開に関する同意書への回答協力依頼を開始（5月～）。1月より同意者の情報公開を再開した。

・データベース取扱いに関する説明会 … 3. 5. 18 ZOOMによるリモート会議

#### 4. 優秀技能者等の表彰

- 1) 全圧連表彰規定に基づく優秀従業員等表彰を授与した（5月）。

- ① 優秀従業員表彰 8名  
② 優良従業員表彰 5名  
③ 特別表彰（建設マスターおよびジュニアマスター候補者） 5名  
④ 役員および職員表彰 5名  
⑤ 全圧連 全国統一安全・技術講習会 永年開催単協表彰 24単協

- 2) 令和3年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者3名、優秀青年施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者2名を国土交通省に推薦。全員の受賞が決定した（顕彰式典は中止）。

- ① 建設マスター候補者 3名  
林健太郎（株）早水圧送（埼玉）  
斎藤慎 大富運輸株（静岡）  
平塚昌弘（株）おおふで（近畿）（敬称略、順不同）  
② 建設ジュニアマスター候補者 2名  
堀井信之（株）ヤマコン秋田（秋田）  
渡辺昌秀 富士コンクリートサービス（静岡）（敬称略、順不同）

- 3) 令和4年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）候補者4名、優秀青年施工者土地・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター）候補者2名を、理事会承認を経て国土交

通省に推薦した。

① 建設マスター候補者 4名

新本英雄 (株)小鍛冶組 (北海道)  
矢口茂巳 (株)最上機工 (山形)  
安藤嘉男 (有)安藤工務店 (九州)  
畑中貴文 富士圧送(株) (九州) (敬称略、順不同)

② 建設ジュニアマスター候補者 2名

田中雄介 帯広コンクリートポンプ(株) (北海道)  
守田竜太 (株)群馬圧送 (群馬) (敬称略、順不同)

## 5. 広報活動の推進

- 1) 全圧連会報第60号(4月)、61号(9月)を発行。会員・賛助会員のほか、元請団体や主要ゼネコン本支店に配布し、業界の取り組みのPRに努めた。
- 2) 全圧連ホームページによる会員および対外関係先への情報発信、PRを行った。
- 3) 「圧送業界特集」を業界新聞に掲載、業界の活動成果とコンクリート圧送工事の経営・作業環境改善に向けたPRを行った。

## 6. 関係官公庁・学会・団体との連携協力

### 1) 国土交通省

各種施策に関する周知・調査協力、情報配信のほか、技能者の処遇改善に向けた施策を業種横断的に協議する「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」、建設キャリアアップシステムを活用した技能者の「レベル判定システム」を行う「建設技能者能力評価制度推進協議会」に参画。また、専門工事業の施工能力の見える化に向けた評価基準案の策定および技能レベル別の労務費を明示する標準見積書の検討に向けた情報収集を行った。

- ①建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会 … 3. 6.16 Teamsによるリモート会議
- ②建設技能者能力評価制度推進協議会 … 3. 4.26 Teamsによるリモート会議
- ③レベル判定システム運用停止に関する説明会  
… 3. 4.12、3. 5.19 3. 6.16 Teamsによるリモート会議
- ④建設分野特定技能に係る試験委員会 … 3. 4.20 国土交通省
- ⑤時間外労働規制、受注価格の動向に関する意見交換会 … 3. 8.25 国土交通省
- ⑥特定技能の職種追加・統合に関する意見交換会 … 3.11.29 全圧連会議室
- ⑦建設分野の特定技能の業務区分再編案に係る説明会… 3.12.24 国土交通省

### 2) 厚生労働省・労働局

新型コロナウイルス感染症防止に伴う雇用調整助成金の特例制度、熱中症・労働災害防止策等の周知・情報配信に努めるとともに、「人材確保等支援助成金」を受給申請し、圧送従事者の確保・育成に資する事業活動に活用するほか、登録基幹技能者の追試験受講者に対して、同助成金の受給のための事務手続き支援を行っている。

- ・人材確保等支援助成金(CCUS等普及コース)説明会 … 4. 1.31  
ZOOMによるリモート会議

### 3) 経済産業省・中小企業庁・全国中小企業団体中央会

新型コロナウイルス感染症防止に伴う各種中小企業向け支援策の情報収集、周知・提供を行った。

### 4) 建設産業専門団体連合会(建専連)

役員団体として理事会、企画委員会、総務部会などへ参加し、業種横断的な専門工事業

界の諸課題改善に向けた活動に参画、各種調査に協力した。

①総会

- ・通常総会 … 3. 6. 9 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- ・臨時総会 … 3.10.18 書面決議
- ・臨時総会 … 3.12.24 書面決議

②理事会

- ・第1回理事会 … 3. 6. 9 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- ・臨時理事会 … 3. 8. 9 書面決議
- ・臨時理事会 … 3. 8.26 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）
- ・第2回理事会 … 3. 9.29 //
- ・第3回理事会 … 3.12.14 //
- ・第4回理事会 … 4. 3.23 //

③企画委員会

- ・第1回 … 3. 9. 7 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）
- ・第2回 … 3.10.12 //
- ・第3回 … 3.11.29 //
- ・第4回 … 3.12. 7 //
- ・第5回 … 4. 2.17 //
- ・第6回 … 4. 3.23 //

④総務部会

- ・第1回 … 3. 5.27 建設業振興基金（東京・リモート会議併設）
- ・第2回 … 3. 9.15 //
- ・第3回 … 3.11.18 //
- ・第4回 … 4. 3.10 //

⑤事務局長等会議

- ・第1回 … 3.10.19 ZOOMによるリモート会議
- ・第2回 … 4. 3. 4 //

5) 日本建設機械工業会（建機工）

ポンプ車の安全対策に関する情報交換を行うとともに、圧送マニュアルや登録基幹技能者講習テキスト等、全圧連の刊行物へ掲載する技術情報の提供を依頼している。

6) 建設荷役車両安全技術協会（建荷協）

特自検有資格者の能力向上と資格取得 PR に協力するとともに、圧送マニュアルへの情報提供を依頼している。

7) 建設業振興基金

建設産業活性化助成金を申請し、経営実態調査・「建設キャリアアップシステム」に関連した「専門工事企業の施工能力の見える化」の評価基準作成会議に活用するほか、「登録基幹技能者制度推進協議会」に参画し、登録基幹技能者の評価・活用に向けた活動に協力して取り組んでいる。

- ・登録基幹技能者制度推進協議会総会 … 3. 6.28 ZOOMによるリモート会議
- ・建設産業人材確保・育成推進協議会 全国担当者会議  
… 4. 3. 1 ZOOMによるリモート会議
- ・登録基幹技能者データベースの取扱いに関する説明会  
… 3.10.13 ZOOMによるリモート会議
- ・建設キャリアアップシステム認定アドバイザー説明会

第1回 … 3. 9. 30 ZOOMによるリモート会議

第2回 … 4. 2. 28 //

8) **日本建設機械施工協会（建機協）**

建設機械施工の業界団体で構成する専門部会へ参画し、建設機械に関する税制改正要望を共同で行うほか、公共土木工事の発注価格の基礎となる「建設機械等損料表」のコンクリートポンプ関連機材の損料調査を受託し、会員企業向けに実施した。

9) **富士教育訓練センター**

諸会議に参加。登録コンクリート圧送基幹技能者の登録講習への講師派遣に協力を得るほか、Web ラーニング教材である建設技能トレーニングプログラム（建トレ）に協力している。

①通常総会 … 3. 5. 28 ホテルグランドヒル市ヶ谷

②第1回事務局長会議 … 3. 10 書面報告

③第2回事務局長会議 … 4. 3. 23 ZOOMによるリモート会議

10) **勤労者退職金共済機構（勤退共）**

退職金共済制度（建退共）の周知、ホームページや会報を活用した PR 活動への協力を行った。

・建退共制度加入促進等連絡会議 … 3. 10. 8 AP 八重洲会議室（東京）

11) **建設技能人材機構（JAC）**

特定技能外国人受入れ事業を共同で行う同法人の正会員として参加。ベトナムでの教育訓練・試験の実施に向けた準備に努めるとともに、特定技能外国人受入計画の申請に関する情報提供・説明会等の周知を行った。

・定時総会 … 3. 6. 2 ZOOMによるリモート会議

・ベトナム現地講師養成会議 … 3. 6. 4 Google Meetによるリモート会議

・特定技能コンクリート圧送国内試験 … 3. 6. 21 建設技能人材機構（東京）

・特定技能コンクリート圧送国内試験 … 3. 9. 1 福岡県中小企業振興センター（福岡）

令和3年度 講習会受講者内訳表

令和4年3月31日現在

単協名	安全・技術講習会		安衛法に基づく特別教育				危険再認識教育 (旧・特別再教育)		足場の業務に係る 特別教育		フルハーネス 特別教育	
			会 員		会 員 外		社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数
	社数	受講者数	社数	受講者数	社数	受講者数						
北海道			7	17			16	64	12	22	10	64
青 森	6	40	6	8								
秋 田	5	30	2	3			5	12				
岩 手	6	71	3	5								
山 形	12	78	1	1					1	1	1	1
宮 城	15	139	5	8			15	134	5	7	7	12
福 島	15	148	4	6					5	8	5	9
茨 城	9	95	5	7	4	8	9	88				
栃 木	10	52	2	2					2	2	2	8
群 馬	10	153	7	30			9	130				
埼 玉	17	167	2	3			9	47	2	5	4	12
千 葉	20	292	6	11	6	12	20	263	6	15	6	19
東 京	21	308	5	8	3	5	20	275	5	12	5	19
神奈川	25	517	11	21	17	22						
山 梨												
長 野	12	93	3	4					3	6	3	6
静 岡	14	85	5	5					5	7	5	11
東 海	28	311					12	26	1	5	2	9
富 山	3	35										
福 井			1	3					1	9	1	9
近 畿	69	817	29	47			61	207	15	42	12	36
広 島	10	82	2	2	1	5	2	16				
山 陰												
島 根	6	31					6	39				
山 口	4	44	2	8								
高 知	10	74	2	5			1	10				
九 州	67	777	6	18			25	146			6	14
合 計	394	4,439	116	222	31	52	210	1,457	63	141	69	229

※前年度 (391) (4,417) (117) (232) (21) (34) (240) (1,506) (33) (93) (33) (152)

## 令和3年度 福祉共済事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

1. 概況 令和4年3月31日現在 ( )内は令和3年3月31日

・加入単協数	21単協	(21単協)
・加入社数	174社	(175社)
・加入者数	1,279人	(1,339人)
・加入口数	2,405口	(2,484口)

2. 保険金給付状況 令和2年12月1日～令和3年11月30日

(1) 死亡・高度障害保険金	0件	0円
(2) 災害死亡給付金	0件	0円
(3) 入院給付金	1件	322,250円
(4) 障害給付金	0件	0円
合 計	1件	322,250円

3. 通院入院見舞金 令和3年4月1日～令和4年3月31日

8件 205,000円

4. 制度運営費(各単協宛還付金)

令和3年4月～6月	296,280円
令和3年7月～9月	292,640円
令和3年10月～12月	288,560円
令和4年1月～3月	287,600円
計	1,165,080円

5. 配当金 令和2年12月1日～令和3年11月30日

・年間掛金	20,673,558円
・配当金	11,333,427円
・配当率	54.8%

## 全圧連福祉共済加入状況表

令和4年3月1日時点

単協名	会員+単協計 (3/1時点) ※1	加 入 数			加入率(%)	目標口数※2	目標口数 達成率(%)
		社数	人数	口数			
北海道	33	4	29	37	12.1%	276	13.4%
青森	7	0	0	0	0.0%	37	0.0%
秋田	6	1	11	11	16.7%	35	31.4%
岩手	8	2	29	114	25.0%	82	139.0%
山形	13	12	116	117	92.3%	94	124.5%
宮城	17	5	45	169	29.4%	140	120.7%
福島	17	4	9	22	23.5%	149	14.8%
茨城	10	7	90	215	70.0%	90	238.9%
栃木	11	2	28	56	18.2%	42	133.3%
群馬	11	7	74	148	63.6%	134	110.4%
埼玉	19	6	59	68	31.6%	222	30.6%
千葉	21	4	12	19	19.0%	291	6.5%
東京	24	7	90	167	29.2%	321	52.0%
神奈川	27	9	108	337	33.3%	461	73.1%
山梨	8	0	0	0	0.0%	62	0.0%
長野	13	4	24	33	30.8%	71	46.5%
静岡	15	0	0	0	0.0%	80	0.0%
東海	35	32	311	362	91.4%	317	114.2%
富山	4	0	0	0	0.0%	36	0.0%
福井	4	0	0	0	0.0%	42	0.0%
近畿	78	34	79	114	43.6%	819	13.9%
広島	17	1	6	18	5.9%	98	18.4%
山陰	2	0	0	0	0.0%	10	0.0%
島根	8	6	24	78	75.0%	29	269.0%
山口	5	1	18	78	20.0%	74	105.4%
高知	12	1	12	12	8.3%	62	19.4%
九州	82	24	102	221	29.3%	628	35.2%
事務局	1	1	3	9	100.0%	9	100.0%
合計	508	174	1,279	2,405	34.3%	4,702	51.1%

※1 会員+単協計について

・会員事業所数+単協事務局の合計数を記載。

※2 目標口数の算出方法：

・前年度の安全・技術講習会の受講者数×1口

・安全・技術講習会の開催のない単協においては、保有ポンプ台数×2口